



What is the G7 Summit?

G7サミットとは？

G7サミットから、世界の今を知り
わたしたちの未来を考えよう



Ministry of Foreign Affairs

What is the G7 Summit?



G7エルマウ・サミット、2022年

G7サミットについて知ろう!

What is the G7 Summit?

G7サミット (主要国首脳会議) とは?

G7サミット (主要国首脳会議) とは、フランス、米国、英国、ドイツ、日本、イタリア、カナダ (議長国順) の7か国および欧州連合 (EU) の首脳が参加して毎年開催される国際会議です。

G7とは?

フランス、米国、英国、ドイツ、日本、イタリア、カナダ (議長国順) の7か国および欧州連合 (EU) が参加する枠組みのことで、参加国7か国の総称として「Group of Seven」を意味しています。G7の会議には、G7メンバー以外の招待国や国際機関などが参加することもあります。



フランス共和国

首都	パリ
人口	6,775万人
面積	55.2万km ²
名目GDP	2兆9,579億ドル

米国

首都	ワシントンD.C.
人口	3億3,189万人
面積	983.4万km ²
名目GDP	23兆3,151億ドル

英国

首都	ロンドン
人口	6,733万人
面積	24.4万km ²
名目GDP	3兆1,314億ドル

ドイツ連邦共和国

首都	ベルリン
人口	8,320万人
面積	35.8万km ²
名目GDP	4兆2,599億ドル

日本

首都	東京
人口	1億2,568万人
面積	37.8万km ²
名目GDP	4兆9,409億ドル

イタリア共和国

首都	ローマ
人口	5,911万人
面積	30.2万km ²
名目GDP	2兆1,077億ドル

カナダ

首都	オタワ
人口	3,825万人
面積	998.5万km ²
名目GDP	1兆9,883億ドル

欧州連合 (EU)

欧州委員会所在地	ブリュッセル
人口	4億4,720万人
面積	413.2万km ²
加盟国	27か国
名目GDP	17兆1,774億ドル

(出典) 面積 : 「UN, Demographic Yearbook - 2021」、人口・名目GDP : 「World Bank, 2021」

G7サミットの特徴

G7サミットでは、世界経済、地域情勢、様々な地球規模課題を始めとするその時々の国際社会における重要な課題について、自由、民主主義、人権などの基本的価値を共有するG7各国の首脳が自由闊達な意見交換を行い、その成果を文書

にまとめ、公表します。基本的価値を共有するG7首脳のリーダーシップにより、G7は国際社会の重要な課題に効果的に対応してきています。



サイドイベントで発言する岸田総理大臣 (G7エルマウ・サミット、2022年)

G7議長国の任期および役割

G7議長国の任期は1月から12月の1年間で、事務レベルの準備会合や関連閣僚会合の開催を通じて、その年のサミット (首脳会合) の準備および議事進行を行います。加えて、その時々の国際情勢などを受けて、緊急会合の呼びかけを行うこともあります。



G7サミットの準備は誰がするの?

準備は「シェルパ」と呼ばれる首脳の補佐役を中心に行われます。「シェルパ」とは、「登山者が山頂 (サミット) にたどり着くための手助けをする案内人」という意味の登山用語です。G7各国のシェルパが「山頂」=「会議の成功」を目指して緊密に連絡を取り合いながら、入念に事前準備を進めていきます。



ウクライナ情勢を議題としたセッションでは、ウクライナ大統領がオンラインで参加 (G7エルマウ・サミット、2022年)。

議題となるテーマ



世界経済



地域情勢



気候変動・エネルギー



開発



保健



女性

など

サミットの歴史

1970年代に入り、ニクソン・ショック(1971年)や第1次石油危機(1973年)などの諸問題に直面した先進国の間では、マクロ経済、通貨、貿易、エネルギーなどに対する政策協調について、首脳レベルで総合的に議論する場が必要であるとの認識が生まれました。

このような背景の下、ジスカール・デスタン仏大統領(当時)の提案により、1975年11月、パリ郊外のランブイエ城において、フランス、米国、英国、ドイツ、日本、イタリアの6か国による第1回サミットが開催されました。

1975年のランブイエ・サミットの結果、世界経済問題に対応するために先進国の首脳が集まって政策協調のための議論の場を持つことの重要性が認識され、その後、各国が持ち回りで議長国を務めつつ、毎年首脳会合を行うことになりました。その後、G7サミットでは、世界経済の諸問題と並び、その時々の世界の情勢を踏まえ、地域情勢や様々な地球規模課題についても議論されるようになり、その重要性は一層高まりました。



第1回サミット全体会議に臨む各国首脳(1975年)

年代別にみる主な議題

1970年代

エネルギー問題、石油危機後の経済の回復

1980年代

多様化する経済問題、東西政治対立

1990年代

東西冷戦構造の終焉、グローバル化

2000年代

世界経済、気候変動、アフリカ開発、テロ

2010年代

世界経済、地域情勢、気候変動・エネルギー、開発

近年のG7サミットの議論の流れ

G7コーンウォール・サミット

日程 2021年6月11日(金)～13日(日)

全体テーマ 「より良い回復」

新型コロナウイルス感染症の世界的拡大以後、初めて対面で開催されたG7サミットであり、G7として協力して新型コロナに打ち勝ち、より良い回復を成し遂げ、国際協調と多国間主義に基づき、民主的で開かれた経済と社会を推進することで一致しました。議長国のジョンソン英国首相(当時)が掲げた「より良い回復」という全体テーマの下、G7の中心的議題である、世界経済・貿易や外交・安全保障について、G7首脳間で率直な議論が行われました。新型コロナ対応を含む国際保健、気候変動・生物多様性および基本的価値に関する議論については、アウトリーチ国や国際機関からの参加も得て、議論が行われました。



G7コーンウォール・サミット、2021年

G7エルマウ・サミット

日程 2022年6月26日(日)～28日(火)

全体テーマ 「公正な世界に向けた前進」

ロシアによるウクライナ侵略に対し、G7が結束して国際社会の秩序を守り抜くことを確認しました。岸田総理大臣は、ロシアによるウクライナ侵略への対応や、物価対策を含む世界経済、インド太平洋などの地域情勢、気候変動といった課題について、2023年のG7日本議長年を見据え、日本として積極的にG7の議論を主導しました。



G7エルマウ・サミット、2022年

G7 広島サミットの開催

G7 HIROSHIMA SUMMIT 2023

2023年5月19日から21日に、日本はG7議長国として広島でG7サミットを開催します。

G7 広島サミット開催の意義

今日国際社会は、コロナ禍に見舞われ、また、国際秩序を根幹から揺るがすロシアによるウクライナ侵略に直面し、歴史的な転換期を迎えつつあります。力による一方的な現状変更の試みやロシアが行っているような核兵器による威嚇、ましてや、その使用はあってはならないと断固として拒否し、法の支配に基づく国際秩序を守り抜く。——日本はG7議長国として、議論を牽引し、こうしたG7の強い意志を、歴史に残る重みを持って、力強く世界に示したいと考えています。

エネルギー・食料安全保障を含む世界経済、ウクライナやインド太平洋を含む地域情勢、核軍縮・不拡散、経済安全保障、また、気候変動、保健、開発といった地球規模の課題など、国際社会が直面する課題は山積しています。G7の首脳が胸襟を開いて議論を深め、未来に向けてのアイデアとプランを明確に提示するよう、議長国として主導していきます。



広島サミット公式ロゴマーク

日本伝統の折り紙をモチーフに、G7を意味した7色で構成し、Gの形のクリップで束ねています。G7各国の伝統や特色および様々な地球規模課題についてのそれぞれの意見や主張を色分けで表し、日本を超えて世界各地に広まっている「折り紙」を通しての世界平和・結束・一体感をイメージしています(制作者:草野敬一さん)。

G7 広島サミット 参加首脳紹介

(2023年3月1日時点)



議長国

日本

岸田文雄
総理大臣 (65歳)



フランス共和国

エマニュエル・マクロン
大統領 (45歳)



米国

ジョセフ・R・バイデン
大統領 (80歳)



英国

リシ・スナク
首相 (42歳)



ドイツ連邦共和国

オラフ・ショルツ
首相 (64歳)



イタリア共和国

ジオルジャ・メローニ
首相 (46歳)



カナダ

ジャスティン・トルドー
首相 (51歳)



欧州連合(EU)

シャルル・ミシェル
欧州理事会議長 (47歳)



欧州連合(EU)

ウァズラ・フォン・デア・ライエン
欧州委員会委員長 (64歳)

日本での開催

日本はこれまで6回議長国を務め、今回、7回目となります。

- 1979年：東京サミット
- 1986年：東京サミット
- 1993年：東京サミット
- 2000年：九州・沖縄サミット
- 2008年：北海道洞爺湖サミット
- 2016年：伊勢志摩サミット



2016年に開催されたG7伊勢志摩サミットではG7各国首脳が伊勢神宮を訪問しました。

G7 広島サミットおよび G7 関係閣僚会合の開催地・開催日程

5月に広島でG7サミットが行われるほか、4月から12月に日本各地で15の関係閣僚会合が開かれ、各分野の重要課題について議論します。



G7サミット

世界の主要7か国とEUの首脳が1つのテーブルを囲み、その時々国際社会における重要な課題について話し合う国際会議

開催地	広島県広島市
日程	5月19日～21日



G7長野県軽井沢 外務大臣会合

G7サミットにおける外交・安全保障に関する議論の基礎となる重要な会合で、国際情勢等について自由闊達な意見交換を実施

開催地	長野県軽井沢町
日程	4月16日～18日

林芳正外務大臣

豊かな自然に恵まれた軽井沢で、G7外相と信頼関係を更に深め、国際情勢の諸課題について胸襟を開いた議論を行います。



G7仙台科学技術大臣会合

地球規模の課題(環境問題や食料問題、エネルギー問題など)の解決に向けた科学技術協力の強化等について議論

開催地	宮城県仙台市
日程	5月12日～14日



G7栃木県・日光男女共同参画・ 女性活躍担当大臣会合

国際社会が直面する様々な男女共同参画、女性活躍に関する課題について議論

開催地	栃木県日光市
日程	6月24日～25日



G7茨城水戸 内務・安全担当大臣会合

国際テロ、サイバーセキュリティ等について議論

開催地	茨城県水戸市
日程	12月8日～10日



G7札幌気候・エネルギー・ 環境大臣会合

世界全体の脱炭素化に向けてや、循環経済や生物多様性などの課題について議論

開催地	北海道札幌市
日程	4月15日～16日



G7三重・伊勢志摩 交通大臣会合

最新技術の開発や普及、交通インフラの整備と老朽化への対応のための基本的戦略について議論

開催地	三重県志摩市
日程	6月16日～18日



G7香川・高松都市大臣会合

コロナ禍からの復興やその先の新たな経済社会における交通政策のあり方について議論

開催地	香川県高松市
日程	7月7日～9日



G7司法大臣会合

「法の支配」を通じた連携の強化を図り、世界に発信

開催地	東京都
日程	7月7日



G7群馬高崎 デジタル・技術大臣会合

DFFTおよびオンラインの安全性並びに信頼性を向上させる新興技術の促進、ビヨンド5G/6Gを含むICTインフラおよび人工知能に対する人間中心のアプローチなどデジタル分野の優先事項をテーマに議論

開催地	群馬県高崎市
日程	4月29日～30日



G7大阪・堺 貿易大臣会合

貿易分野における国際的な課題について議論

開催地	大阪府堺市
日程	10月28日～29日 (4月4日オンライン開催)



G7新潟 財務大臣・中央銀行総裁会議

世界経済情勢やマクロ経済政策のほか、幅広いグローバル経済に関する諸課題について議論

開催地	新潟県新潟市
日程	5月11日～13日



G7富山・金沢教育大臣会合

コロナ禍が社会にもたらした変化や影響に教育がどのように対応し、ポストコロナ社会で求められる人材を育てていくについて議論

開催地	富山県富山市・石川県金沢市
日程	5月12日～15日



G7長崎保健大臣会合

健康危機への対応、ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ達成への貢献、ヘルス・イノベーションの促進の3本柱について議論

開催地	長崎県長崎市
日程	5月13日～14日



G7倉敷労働雇用大臣会合

世界の労働環境を取り巻く様々な課題について国際レベルで議論

開催地	岡山県倉敷市
日程	4月22日～23日



G7宮崎農業大臣会合

世界の食料安全保障や持続可能な食料・農業システムの構築について議論

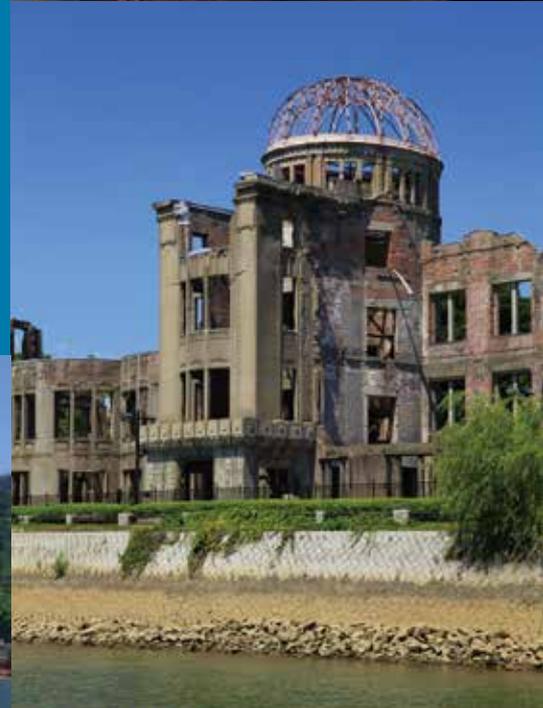
開催地	宮崎県宮崎市
日程	4月22日～23日



戦禍から復興を遂げ、発展し
続ける国際平和文化都市

～広島～

G7サミットが開催される広島市は、平和都市として世界的に知名度が高だけでなく、大都市でありながら山・川・海の自然に恵まれた観光地でもあります。広島市内には核兵器の悲惨さを伝える原爆ドーム、近郊には中世日本の代表的な建築物である厳島神社があり、いずれも世界遺産に登録されています。



G7 広島サミット公式ホームページ
<https://www.g7hiroshima.go.jp>

サミットの詳細については、G7 広島サミットの
公式ホームページおよび外務省ホームページをご覧ください。



公式 Twitter
<https://twitter.com/G7>



公式インスタグラム
<https://www.instagram.com/g7/>

外務省

〒100-8919 東京都千代田区霞が関2-2-1
TEL. 03-3580-3311 (代表)



外務省ホームページ(G7)

<https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/summit/index.html>

